

保健体育科 授業改善推進プラン（平成29年度）

文京区立第十中学校

（1）学習の状況と課題

- 1年 全体的に行動や発言が幼く、授業を受ける態度や集団行動が定着していない。体格もまだ成長段階にあり、体力的にも低い。運動能力は全体的に低い。
- 2年 集団行動は定着しつつある。行動力、発言力ともある。また、仲間への的確なアドバイスをすることもできる。体格は良くなってきたが、運動能力は全体的に低い。
- 3年 全体的に集団行動が定着し、体力も向上した。行動力や発言力も積極的に取り組むことができるようになってきた。しかし、全体が一部のリーダー格の生徒に影響を受けやすい。

（2）指導改善の観点（課題解決のための具体的な授業改善策）

- 1年 幼い行動や発言を見逃さず、その場で指導する。また、集団行動を徹底し、できなければやり直しをする。体力面のカバーとして、準備体操後の補強運動を継続する。
- 2年 運動能力向上のため、補強運動の継続とコーディネーショントレーニングを準備体操後に行う。また、知識と思考がつながるように、考える時間を確保し、ペア学習を多く取り入れる。
- 3年 授業内で様々な体験と経験をさせ、達成感と感動体験を積み重ねて自信を持たせていく。そのために、仲間を思いやり、認めあえるようにしていく。

（3）指導方法改善のポイントと方策

- 1年 指導する立場が言葉を選び、授業の雰囲気確立する。仲間を応援する心構えを身につけさせるようにし、集団で行動していくことを意識させていく。
- 2年 生徒への声かけを意識し、行動を観察する。言語活動を充実させ、仲間同士話し合いを活発にさせるよう環境を設定する。
- 3年 生徒一人ひとりが、数多くの発言や行動の機会を設定し、全員が活躍できる環境を作る。その体験や経験より自信を持たせ、今後の授業や進路などに活かせるようにしていく。